

行事等

- 1月4日：第1回令和6年能登半島地震緊急対策本部会議
1月5日：日本獣医師会危機管理室 第1回災害対策委員会
1月9日：日本獣医師会危機管理室 第2回災害対策委員会
1月13日：第2回令和6年能登半島地震緊急対策本部会議

- 1月17日：VMAT小委員会
1月19日：令和5年度第10回業務運営幹部会
1月25日：第38回動物感謝デー企画検討委員会
：日本獣医師会危機管理室 第3回災害対策委員会
1月30日：第38回産業動物臨床・家畜共済委員会

女性獣医師応援 ポータルサイト

女性獣医師の「いきいきと働く」を応援します！

【ロールモデル】
いきいきと輝きながら
活躍する女性獣医師をご紹介します

【eラーニング】
活躍を応援する情報や
最新の知見など
いつでもどこでも「学び」を応援

【セミナー・研修・実習情報】
学会やセミナー、各地での研修会
などの情報をご紹介します

【人材募集】
ライフスタイルに合わせた
仕事を探す
人材募集情報をご紹介します

公益社団法人日本獣医師会は、女性獣医師のみなさまを応援するポータルサイトを開設し、幅広い情報をご紹介します。

「女性獣医師応援ポータルサイト」は、農林水産省補助事業である獣医療提供体制整備推進総合対策事業により作成されました。

公益社団法人 日本獣医師会
いのちみつめる。いのち育む。

女性獣医師応援ポータルサイト 検索

令和6年能登半島地震 被災地域地方獣医師会及び会員獣医師の皆様へ

このたびの令和6年能登半島地震により被災された貴会及び会員獣医師の皆様にご心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地の一刻も早い復旧をお祈り申し上げます。

日本獣医師会におきましては、地震発生後、直ちに日本獣医師会危機管理室による情報収集を開始するとともに、1月1日午後7時に「日本獣医師会令和6年能登半島地震緊急対策本部」を設置し、被災された皆様への支援と、復旧に向けた様々な対応を進めているところです。

対策本部では、人命を第一に被災地域地方獣医師会等と連携しながら被害の状況を正しく把握しつつ、災害対応に当たってまいります。

しばらくの間、余震や津波にも警戒する必要があります。まずはご自身の身の安全を確保いただきますようお願いを申し上げます。

日本獣医師会危機管理室

危機管理室長 藏内勇夫（日本獣医師会会長）

危機管理統括 佐伯 潤（日本獣医師会理事）

募 集

「令和6年能登半島地震動物救護活動等支援金」の募集について

このたびの令和6年能登半島地震により被災された地方獣医師会及び地方獣医師会会員獣医師の皆様にご心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地の一刻も早い復旧をお祈り申し上げます。

日本獣医師会におきましては、1月1日に「日本獣医師会令和6年能登半島地震緊急対策本部」を設置し、令和6年能登半島地震緊急対策本部の開催や危機管理室災害対策部門災害対策委員及び本会職員の現地派遣等のほか、現地における「令和6年能登半島地震動物救援本部」の設置を支援し、地元石川県獣医師会と連携して対応にあたっているところです。

つきましては、その活動を支援するとともに、被災動物の救護及び獣医療提供体制の復旧等の支援を目的として、「令和6年能登半島地震動物救護活動等支援金（以下「支援金」という。）」を広く募集します。

支援金のとりまとめは地方獣医師会ごとに行っておりますので、詳細は地方獣医師会事務局にお問い合わせください。

案内

獣医コミュニケーション研究会 (NDK)

日本獣医師会雑誌「獣医療とコミュニケーション」連載コラボセミナー

NDKでは、連載「獣医療とコミュニケーション」と連動したコラボセミナーを予定しております。著者の方に連載記事と関連した内容についてさらに掘り下げてお話しいただけます。参加費無料でzoomにて行いますので、ふるってご参加ください。

日時：2024年2月28日(水) 16:00～17:30

講師：水谷 尚 さん (日本獣医生命科学大学)

(日獣会誌 2024年1号掲載)

演題：「代謝プロファイル試験の成否は

コミュニケーションが握っている」

進行：堀北哲也 (日本大学生物資源科学部獣医学科)

申込先：[https://forms.gle/](https://forms.gle/rVTXc9dAiWgtBCRA6)

rVTXc9dAiWgtBCRA6

申込締切り：なし (参加無料)



日時：2024年3月26日(火) 20:00～21:30

講師：白戸綾子 さん

(JGAP 上級審査員, 農場 HACCP 主任審査員)

演題：「JGAP 畜産とコミュニケーション」

進行：堀北哲也 (日本大学生物資源科学部獣医学科)

申込先：[https://forms.gle/](https://forms.gle/mDB93WT87vksqxUP6)

mDB93WT87vksqxUP6

申込締切り：なし (参加無料)



お問い合わせ先：堀北哲也 (horikita.tetsuya@nihon-u.ac.jp)

第42回 日本獣医師会
獣医学術学会年次大会 (令和6年度)

会期

令和7年

1月24日(金)～26日(日)

会場

仙台国際センター

〒980-0856 仙台市青葉区青葉山無番地 TEL: 022-265-2211

主催



公益社団法人 日本獣医師会

日本産業動物獣医学会・日本小動物獣医学会・日本獣医公衆衛生学会

案内

シンポジウム

「世界とワンヘルスの視点で考える獣医疫学教育」のご案内

日時：2024年3月16日(土) 14:00～17:00

開催方式：対面開催とオンライン配信の
ハイブリッド開催

対面開催会場：

東京大学大学院農学生命科学研究科
フードサイエンス棟 中島董一郎記念ホール
東京都文京区弥生1-1-1
(地下鉄 南北線 東大前駅
千代田線 湯島駅または根津駅)

参加費：無料

プログラム：

- ・複雑さを増す世界への獣医疫学教育の適応
(通訳あり)

Dirk Pfeiffer 先生

(City University of Hong Kong 教授)

- ・日本の獣医疫学教育の現状と世界各地域の実習教育
蒔田浩平 先生
(酪農学園大学教授・日本獣医学会疫学分科会長)
- ・COVID-19 パンデミックに対応した医学教育の
再構築
矢野晴美 先生 (国際医療福祉大学教授)

・One Health フィールド疫学コンピテンシーの枠
組み (COHFE) と研修指導 (通訳あり)

Stacie Dunkle 先生 (世界保健機関 (WHO))

・総合討論ならびに提言取りまとめ

参加申込方法：

以下のリンクまたはQRコードよりお願いします
(事前登録制)。

<https://forms.gle/hejJoucMiGxHtVWb8>



お申込み締切：2024年3月9日(土)

(対面での参加をご希望の方は先着順になります。
対面参加人数が上限に達した場合、オンライン参加
とさせていただきます)

主催：日本獣医学会疫学分科会

共催：獣医疫学会 家畜感染症学会

後援：日本獣医師会

お問合せ：日本獣医学会疫学分科会事務局
(jsvsepi-office@umin.ac.jp)

第32回世界牛病学会の開催

第32回世界牛病学会 (World Buiatrics Congress 2024) が、2024年5月20
日～24日、メキシコのカンクンにて開催されます。是非ご参加ください。

<https://www.wbcmexico2024.com/>



楽しみながら
獣医師を知り
動物と仲良くなろう！



2024
9/21 (土)
10:00 ~ 17:00

駒沢オリンピック公園 東急田園都市線
「駒沢大学駅」下車 徒歩約 15 分

主催：  公益社団法人 日本獣医師会
いのちみつめる。いのち育む。



入場無料
〈雨天決行〉

日本獣医師会雑誌投稿原稿の募集について

日本獣医師会においては、構成獣医師をはじめ多くの獣医療関係者等から日本獣医師会雑誌への投稿原稿を広く募集しております。

なお、投稿に際しては、「日本獣医師会雑誌投稿規程
(第76巻12号562頁に掲載)」を参照願います。



お知らせ

日本獣医師会獣医学術学会誌の著者負担金の改訂について

日本獣医師会獣医学術学会誌に係る著者負担金に係る消費税について、従来は料金に含んで対応してきたところですが、編集費や印刷費等の値上がりに伴い、内税での対応が困難となりました。一方、令和5年10月1日から開始される消費税のインボイス制度に伴う消費税額の明示への対応が求められています。つきましては、令和5年6月1日以降に発行する請求書から、外税として対応することとしましたのでお知らせします。

1 投稿規程第9条第1号関係

筆頭著者が会員構成獣医師及び個人賛助会員（学生賛助会員を含む。）の場合は、審査料及び掲載料ともに要しないが、これ以外の者については、次の審査料及び掲載料を納入する。

- (1) 投稿時審査料：10,000円
（ただし、学生の場合は、5,000円とする。）
- (2) 採用時掲載料：50,000円
（ただし、学生の場合は、10,000円とする。）

2 投稿規程9条第2号関係

超過頁の作成料：15,000円／1頁

3 投稿規程第9条第3号関係

原図の作成料：

実費相当額（1枚につき5,000円程度）

4 投稿規程第9条第4号関係

別刷の印刷料：

実費相当額（モノクロ刷り上がり4頁（表紙付き）100部につき30,000円程度）

ただし、カラー印刷を希望する場合は、応相談。

※金額は全て税抜き価格です。

（令和5年6月1日改訂）

日本獣医師会獣医学術学会誌投稿原稿の募集について

日本獣医師会学会においては、構成獣医師をはじめ多くの獣医療関係者からの獣医学術学会誌掲載の研究論文を随時募集しておりますので、奮ってご投稿願います。

学会では、獣医師専門職をはじめ、獣医学系大学の学生、獣医学関係分野の研究者等が学術研究の発表をされる場として、獣医学術学会誌への投稿原稿を広く募集しています。

日本獣医師会が毎年度開催する獣医学術学会年次大会で一般口演された研究発表等も、是非ともご投稿いただき、誌面での発表をお願いします。

なお、投稿に際しては「日本獣医師会獣医学術学会誌投稿規程（第76巻12号572頁）」及び投稿原稿の審査や編集が円滑に行われることを目的に策定された「日本獣医師会獣医学術学会誌投稿の手引き（第76巻12号576頁）」を参照願います。

募 集

日本獣医師会 第36回日本動物児童文学賞作品募集要項

～人と動物との共存等を扱った作品の募集～

1 名 称

第36回日本動物児童文学賞

2 目 的

この事業は、動物の愛護及び管理に関する法律（昭和48年10月1日法律第105号、以下「動物愛護管理法」という。）の目的及び基本原則等の趣旨に則り、次代を担う子供たちが正しい動物福祉・愛護の考え方を身に付けることができるよう、動物の福祉・愛護に関するより良い文学作品を広く募集し、選考・審査の上、入賞作品を日本動物児童文学賞として決定し表彰・公表するとともに特に優れた作品を普及させることにより、児童の健全な育成と豊かな人間性を涵養することを目的として実施する。

3 募集期間

令和6年1月1日(月)～同年4月20日(土)

(※当日消印有効)

4 募集内容

読者対象を満6歳以上12歳までの学齢児童とし、動物の虐待防止、動物の適正飼養、人と動物のふれあい、人と動物との共生及び動物福祉・愛護等を扱ったもので未発表の作品であること。(ただし、商業出版を目的としない同人雑誌等への発表は差し支えない。)

5 応募規定

- (1) 原則として日本語ワープロソフト等を用いて作成した電子データによる原稿とし、原稿データを郵送または電子メールへの添付により『10 応募先』に送付すること。手書き原稿も受け付けるが、その場合は、丁寧な字ではっきりと書くこと。
- (2) 原稿は、A4判横向き〔43字×28行〕を縦書きで作成すること。本文（あらすじを除く）の総枚数は13枚以上20枚以内、フォントサイズ（文字の大きさ）は12ポイントとする。ただし、手書き原稿の場合は、400字詰原稿用紙を縦書きで使用し、本文の総枚数40枚以上60枚以下とする。
- (3) 1枚目は応募用紙、2枚目はあらすじ、3枚目からは本文とする。最初の1枚目の応募用紙には、①

タイトル、②応募者の氏名(フリガナ)、③年齢、④性別、⑤職業、⑥郵便番号、⑦住所、⑧電話番号／FAX番号、⑨E-mailアドレス、⑩主要登場動物、⑪原稿（応募用紙、あらすじを除く）の枚数、⑫本賞の作品募集を何で知ったかを明記すること。

2枚目には、400字以内で作品のあらすじを記載すること。

3枚目から本文を開始し、ページ番号を中央下部に記載すること。(応募用紙とあらすじはページ数に含まない)

本文に氏名は記載しないこと。

- (4) 原稿は、ホッチキスや、とじ紐などで綴じないこと。
- (5) 応募者の個人情報の取扱いは以下のとおりとする。応募者及び、応募者が未成年の場合その保護者は、内容を確認し、同意したうえで応募すること。

① 個人情報保護管理者

公益社団法人 日本獣医師会 事務局長

② 利用目的

応募者の統計的分析、作品の審査、審査結果の連絡など「第36回日本動物児童文学賞」に係る事務処理

③ 個人情報の第三者提供

本人の個人情報を第三者に提供しない。

④ 個人情報の委託先への提供

「第36回日本動物児童文学賞」に係る事務処理業務を遂行するために必要な範囲内で個人情報を委託先に提供することがある。

⑤ 個人情報に係る問合せ窓口

個人情報に係る問合せは下記『11 問合せ先』に示す連絡先の個人情報保護担当者まで連絡できる。

尚、個人情報を本会へ提出することは任意だが、必要事項を提出しない場合、適切な選考・審査ができない場合がある。

6 応募資格

プロ・アマチュアを問わず、年齢15歳以上の者とする。ただし、過去の本賞における大賞受賞者は対象外とする。

7 賞

日本動物児童文学大賞 1作品 = 30万円

日本動物児童文学優秀賞 2作品以内 = 20万円

日本動物児童文学奨励賞 5作品以内 = 5万円

※副賞は所得税法に則り源泉徴収の対象です。

大賞・優秀賞受賞作品は日本動物児童文学賞受賞作品集に収録され広く配布される。

なお、大賞及び優秀賞を受賞した場合には、受賞作品の作者は挿絵を3枚以上本会へ提供すること。

8 発表

令和6年9月下旬頃に、本会のホームページ上で受賞作品を掲載する。

9 主催

公益社団法人 日本獣医師会

10 応募先

応募原稿受付専用メールアドレス：

bungaku@nichiju.or.jp

〒107-0062

東京都港区南青山1-1-1 新青山ビル西館23階
公益社団法人 日本獣医師会 宛て

*応募の際は、郵送の場合は封筒に、電子メールの場合は件名(タイトル)に、「第36回 日本動物児童文学賞 応募作品 在中」と記入すること。

*上記メールアドレスへ原稿を送った場合、応募受付の確認メールが4営業日以内に届かなかっ

た際には、『11 問合せ先』に連絡すること。

*データ原稿と紙面の原稿を重複して送付しないこと。

11 問合せ先

公益社団法人 日本獣医師会事務局

☎03-3475-1601

※応募作品の内容訂正、審査状況に関する問合せは不可

12 著作権

(1) 入賞作品の著作権は著作者に帰属するものとする。ただし、本事業に伴い実施する日本動物児童文学賞入賞作品集への掲載及び本会ホームページへの掲載並びに本会の事業において特に必要な場合には、本会はこの作品をいつでも無償で利用できることとする。

(2) 著作者が入賞作品を出版等する場合には、日本獣医師会日本動物児童文学賞入賞作品である旨を明記することとする。

13 その他

(1) 応募作品は返却しない。

(2) 生成型AI等を用いて作成した作品、生成型AI等を用いて作成したものに手を加えた作品の応募は不可とする。

(3) 「日本動物児童文学賞入賞作品集」は切手310円分(送料)を同封の上、本会事務局まで申し込めば希望者に送付する。(在庫数に限りがある。)

環境省からアンケートご協力をお願い

酸化エチレン使用・排出実態把握に係る WEBアンケート調査

酸化エチレン(別名:エチレンオキシド、EOG)は、医療機器等の滅菌剤等に利用されていますが、国際がん研究機関(IARC)の発がん性分類において「ヒトに対して発がん性がある」とされるグループ1に分類されています。

人の健康の保護及び生活環境の保全を目的とする「大気汚染防止法」では、酸化エチレンは有害大気汚染物質の優先取組物質に指定されており、事業者の責務として大気への排出・飛散の抑制が規定されています。

環境省では酸化エチレンの環境目標値(※1)の設定に向けた検討を進めているところですが、参考までに、全国の大気中酸化エチレンのモニタリング結果を「化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)」の有害性評価値(※2)と比較すると、その値よりも高い濃度を示す地点が多数確認されており、早急に排出削減対策を推進する必要があります。

※1 人の健康を保護する上で維持されることが望ましい大気環境濃度

※2 吸入経路の発がん性で $9.20 \times 10^{-5} \text{ mg/m}^3$ (実質安全量)

このような状況を踏まえ、環境省は令和4年10月に「事業者による酸化エチレンの自主管理促進のための指針」(※3)を策定し、事業者による自主的な排出抑制対策を推進することとしました。

※3 https://www.env.go.jp/page_00365.html

日本獣医師会、全国農業共済協会、日本動物病院協会の3団体においても、上記指針に基づき「酸化エチレン(エチレンオキシド)の大気排出抑制に向けた取組について」を策定し、酸化エチレンの排出削減に向けた取組を会員のみなさまに周知したところですが、その進捗状況等を把握するため、本アンケート調査を実施します。

実施期間

令和6年2月1日～2月28日

回答方法

WEB回答(1～5分程度)

調査対象

動物診療施設



以下のWEBサイトまたは右上のQRコードから回答してください。

http://www.ries.co.jp/eo/index_nichiju.html

※アンケートは環境省委託先事業者である株式会社環境計画研究所(RIES)が実施します。
本アンケートに関する問合せ先はWEBサイトをご参照ください。



いのちみつめる。いのち育む。
公益社団法人 日本獣医師会



環境省

RIES
株式会社 環境計画研究所